

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【公開番号】特開2014-111494(P2014-111494A)

【公開日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【年通号数】公開・登録公報2014-032

【出願番号】特願2012-266484(P2012-266484)

【国際特許分類】

B 6 5 H 1/26 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 1/26 3 1 2 C

B 6 5 H 1/26 3 1 2 E

G 0 3 G 15/00 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

ここで、図2に示すように、引き出しレール69の引き出し方向と直交する幅方向の両側面の引き出し方向上流側、すなわち引き出しレール69の後端部には第1位置決めピン70が設けられている。また、引き出しレール69の幅方向の両側面の引き出し方向下流側、すなわち引き出しレール69の先端部には第2位置決めピン71が設けられている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 8】

第1案内面254には、第1位置決めピン70と係合して給紙カセット61の上方への移動を規制する突出部256が引き出し方向下流側に突設されている。そして、第1案内面254は突出部256の頂点に向かって緩やかに連続する稜線を有している。言い換えれば、突出部256の第1位置決めピン70と接する面は、なだらかな低摩擦面で形成されている。なお、図5において、は、突出部256の、嵌合部252と嵌合した状態の第1位置決めピン70と上下方向で重なる突出量であるかかり量である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図4】

